

平成28年熊本地震の記録

No. 1 H28.5.23作成版



▲本震が発生した4月16日午前1時25分で止まった役場の時計



▲大きく傾いた家屋（古閑原）



▲崩壊した納屋の屋根（辛川）



▲個人宅の選果場の屋根の崩落（馬場楠）



▲地震により壁が崩れ落ち、むき出しになったトイレ（柳水）



▲崩落した南小学校北側の石積み（供合線沿い）



▲菊陽中学校の武道場の壁が大きく剥落



▲倒壊した役場駐車場南側の戦没者慰霊の招魂碑



▲「菊陽町戸次」交差点の南側道路の地割れ。戸次区は避難勧告・避難指示が発令された（5月12日に解除）

平成28年熊本地震の記録

No. 2



▲本震直後の役場総務課。キャビネットは倒れ、書類が散乱した



▲役場正面玄関前に設置された災害対策本部 (4.16 AM2:20)



▲けがをした避難者の救護をする保健師 (役場 AM3:27)



▲避難者の毛布を用意する町消防団と町職員 (役場 AM3:57)



▲15度を下回る寒さで毛布にくるまる避難者 (役場 AM3:58)



▲支援物資 (水) をトラックに積み込む作業の様子



▲陸上自衛隊による給水 (役場 駐車場)



▲役場駐車場での給水の様子。長蛇の列となった



▲(仮称) 菊陽町光の森多目的広場での給水



▲光の森の給水所でも多くの方が列に並んだ



▲大津菊陽水道企業団と陸上自衛隊の給水の様子 (役場駐車場)。奥は、町民グラウンドに避難した車両

平成28年熊本地震の記録

No. 3



▲多くの町民が避難した武蔵ヶ丘小学校体育館



▲避難所を訪問し、避難者を見舞う後藤町長



▲役場での炊き出し。職員やボランティアでおにぎりを作った



▲菊陽町婦人会による炊き出し（役場）



▲避難所(光の森町民センター)での配食



▲重光産業（味千ラーメン）による炊き出し（中央公民館前）



▲笑福（光の森）による熊本名物「タイピーエン」の炊き出し



▲武蔵ヶ丘北小でのボランティアによる炊き出し



▲多くの支援物資が全国各地から届いた（菊陽中学校体育館）



▲自衛隊により設置された仮設風呂（光の森多目的広場）



▲仮設風呂を視察する後藤町長と井手副町長



▲救護室でミーティングを行う県外からの保健医療チーム

平成28年熊本地震の記録

No. 4



▲災害ボランティアによる被害家屋の片づけ



▲災害ごみが集められた仮置き場（さんふれあ駐車場西側）



▲り災証明書受付、みなし仮設住宅・応急修理相談窓口



▲り災証明書申請窓口（大会議室）



▲被害家屋の状況を確認するため、現地調査が行われた



▲避難者の心の健康状態を確認するためにDPAATが避難所を巡回



▲熊本を応援する災害ボランティアのみなさん



▲菊陽中学校卒業生によるボランティア



▲菊陽中部小学校を訪問した口アツ熊本の選手と子どもたち



▲モデルのすみれさんが三里木保育園と第二熊本菊陽学園を訪問



▲屋久島町からの応援メッセージ（屋久島町長と子どもたち）



▲町に寄せられた多くの応援メッセージ（6月広報表紙にも掲載）